

## 令和4年度 第1回酒田市体育施設整備審議会 懇談要旨

日 時	令和4年7月26日(火) 10:00～11:30
場 所	第1委員会室
参 集 者	委 員／池田里枝、中條庸右、莊司敏博、尾形律香、丸山清、 川守田義則、(代理)長南八重智、(代理)石渡伸一 欠 席／齋藤勉、丸山昌彦 酒田市／鈴木教育長、池田教育次長、齋藤課長、梶原補佐、 土門主査兼係長、本間調整主任
配布資料	・次第 ・委員名簿 ・資料1 施設の概要 ・資料2 利用状況等のデータ ・資料3 平面図 ・資料4 課題と対策、これまでの要望 ・資料5 写真

### 【委嘱状の交付】

教育長から委員に委嘱状を交付

委員の任期は令和4年7月1日から令和5年3月31日まで

### 1. 開 会 (略)

### 2. あいさつ (教育長)

- ・今年度新しく、「酒田市体育施設整備懇談会」を設置し、委員を委嘱させていただいた皆様、本市の体育施設整備に力添えを賜りたい。
- ・人口減少が進んでいるが、旧町時代からの施設はそのまま残っていて老朽化が進んでいる。しかし令和5年度は国体記念体育館、令和6年度は八幡体育館の大規模改修を行う予定である。
- ・最近5年ほど、夏の高校野球山形大会が光ヶ丘野球場で行われていない。施設整備が行き届いている米沢市や天童市の野球場でも行われていない。学校数の減少なども理由の一つだが、やはり地元の野球場で開催されないのは寂しい。
- ・本会議の今年度のテーマは光ヶ丘野球場とスワンスケートリンクだが、将来を見据え、皆さま方からの貴重なご意見をお願いしたい。

### 【会長・副会長の選任】

- 委員長は酒田市体育施設整備懇談会設置要綱第4条第2項に基づき、教育次長をもって充てることになっている。⇒ 委員長／池田里枝 委員 (酒田市教育委員会教育次長)
- 副委員長は酒田市体育施設整備懇談会設置要綱第4条第3項に基づき、委員長が委員の中から指名することになっている。⇒池田委員長は中條庸右 委員を指名 ⇒ 副委員長／中條庸右 委員 (酒田市体育振興会会長)

出席者自己紹介

### 3. 懇談（進行：池田委員長）

#### （1）光ヶ丘野球場の在り方について（資料説明：事務局）

##### 【資料1】～【資料5】

（委員）

- グラウンドで野球ができることが絶対条件。土は、最近は良くなってきている感じがする。ただ小石が混じっていて整備で拾っている。
  - 外野芝は凸凹が酷く、外野の選手がエラーしてしまうことが多い。県大会以上の大会前には芝刈りをした方がいいと思う。
  - スピードガンは以前は贅沢品だったが、現在は必須である。自分のスピードが気になることが多く、また見ている方にしても、投げてるスピードは気になる。以前、スコアボードを設置した請負業者等によると、スピードガンは設置できるようにしてあると言われた。配線してあるかはわからない。
- ⇒（事務局）後ほど施工業者に確認する。
- 県大会で選手に着替えをさせようとしても選手控室が老朽化していて、とても案内できない。医務室は、倒れた時に寝かせて大丈夫か疑問。高校野球の地区予選がやれる状況になれば、ある程度の問題は解決すると思う。
  - 室内練習場はブックではストップが効かない状態。水をまかないと土がアスファルトと同じくらいに固くなる。

（委員）

- 屋内練習場は人工芝化できたらとても良い。
- 屋内練習場は、なかなか借りることができない。一棟だけでは不足である。
- 老朽化している光ヶ丘野球場を補修するより、全部作り変えた方がお金がかからないのではないか。飯森山の国体記念体育館の後ろあたりに、新しく建てることを考えてもいいのではないか。跡地利用をソフトボール専用にしてもらいたい。
- 多目的グラウンドの前は道路がカーブしていて、大会等で歩道に座って応援する人が多く危険。
- 子どもから野球を「酒田ではしたくない、鶴岡でやりたい」と言われている。
- 昔は光ヶ丘野球場に一軍のプロ野球、巨人などが来ていた。誘致することも考えた方がいい。

（委員）

- 野球関係施設の維持管理費を知りたい。
- ⇒（事務局）今手元に資料がないので次回懇談会で報告する。
- 野球施設に限らず、管理している現場から修繕要望があがってきていると思うが、なかなか通らないと聞いたことがある。修繕にかかる優先順位はどうか。

⇒（事務局）

予算に応じて危険個所から優先的に取り組んでいる。

野球場については、雨漏りは全面防水をして止める修繕をする方針。照明器具は、調査の結果、建て替えるしかないということがわかっている。

（委員）

- 現在、照明の危険個所をコーンなどで囲っているが、子どもが入ってしまうのもっと嚴重にしていきたい。
- 光ヶ丘野球場は下におりていくという形状だが、最近雨が多く、数年前に冠水した。その後、本部席の壁に足がぶつかっただけで穴が空くようになった。下に降りていく形状はやめていただきたい。
- 全面的な改修をしていただきたい。何年かかっても改修してもらいたい。

○グラウンドは、土ではなく砂だし、水はけも悪い。少し雨が降ったら、試合ができない状況になる。

○極論だが、照明は無くてもいい。ナイターは特定団体の練習か、年1度、大会で使用する程度。照明は無くても、野球場としては十分やっていけるのではないか。今の照明は、できればすぐに撤去していただきたい。

(委員)

○建て替えなど、大々的なリフォームをしてもらいたい。予算は企業に協賛していただいて、広告を載せるとか、球場に企業の名前をつけるとか。地域全体の企業から協賛いただいて、盛り上げるようにならないのかなと思う。

⇒(事務局) 球場に名前つけるなど、選択肢の一つとして考えることはできると思う。

○小さい子には和式トイレは厳しい。トイレの数も少ない。

○プロ野球を呼ぶ場所がないことは寂しい。

(委員)

○夏の高校野球県大会を酒田で開催できない理由は、グラウンドの状態が悪いことも理由の一つだが、高野連によると、救護体制がとれないからとのこと。救護室は1室あるが、狭いし、形状は細長い。ベッド1個置いてあるだけで、熱中症で倒れた場合、何人も寝かせておけない。

(委員)

○熱中症になった一般人に対応できるような手洗い場など、水を体にかけてられるような水道もない。コロナ感染の手洗い場もない。トイレしかない。

⇒(委員長)

この施設は20年以上前に建設された施設なので、コロナに対応した整備はしていない。

(委員)

○野球場の収容人数は10000人で多いのに、トイレの数が少ない。

(委員長)

○平成17年11月1日に一市三町が合併したが、一つ一つの地方公共団体にワンセットの施設が基本的にあった。メンテナンスにかかる予算、競技人口、様々なバランスが取れていないものが多くある。

○今日の懇談会は実現するかは、約束できないが、色々な考え方があることを市にお伝えいただく場を作ってほしいと市長から特命を受けて開催している。

○人口減少について、最近10年間で子どもが700人以上減っている。出生数について計算すると今年度は約440人になる。この様に変化している状況で酒田市のスポーツ施設はどうしたらいいのか、ご意見を伺いたい。

(副委員長)

○人口減少という視点から考えると、今のスポーツ少年団の野球チーム数は13チーム(最大時31チーム)。八幡には八森野球場、松山には松山多目的運動広場がある。野球施設10施設の内6施設はソフトボールをやっている。過剰である。チーム数が減少して、大会数も減り、これだけの数の施設を維持していく必要があるのか。八森野球場あたりはどれだけの大会をやっているのか。

⇒(委員)

八森野球場では社会人の軟式野球大会ぐらいしかやっていない。正式な県大会などはできない。

(副委員長)

○松山多目的運動広場は、スポ少がよく大会をしている。人口が減っているので、光ヶ丘野球場をメインにするのであれば、国体記念体育館の後ろに新球場建設の案も考えられる。しかし、今の市の情勢、予算の関係で無理だと感じる。来年、国体記念体育館の大規模改

修が入り、その後、八幡体育館の改修もある。だから財政的に厳しいのではないか。人口が減り、税収も減り、これだけの施設を抱えたまま進めていいのか。野球はやはり光ケ丘野球場をメインにして、そこに予算を計上する考え方でいく方がいいのではないか。そしてメイン球場を酒田の顔にすればいい。

(委員)

○酒田のメイン球場は必要だと思うし、建て替えるしかないのではないか。改修費が莫大だと思うので、中期、長期計画を立てていただき、予算、人口減少、他球場との兼ね合い、サブグラウンド化や第二球場化も検討していただきたい。そして多目的に使えるようにしていただきたい。これから競技チームも減るだろうから、空いている時間は、他の競技で使うなど転用可能の施設の方がいい。

(委員)

○まずは光ケ丘野球場をそのまま使うのか使わないのかを決めてから、考えた方がいい。光ケ丘野球場を直すなら、どこから直した方がいいか。手順を決める。照明を撤去して、グラウンドを整備して、本部棟の雨漏りを止めるという順序を立てて、この球場をメインに使う。使わないなら、どこかに新しいものを建てる。どちらかに絞って決めていく方がいい。

(委員長)

○皆さんの意見をまとめると光ケ丘野球場を改修して存続させるか、もしくは掘り込み式ではない平面的な野球場をどこかに新設するか。選択肢は二つになる。

○改修して使う場合は、土を入れて、暗渠を入れ替え、建物を全部コーティングする。

(委員)

○あの雨漏りは直せるのか。

⇒ (事務局)

どこから雨が漏れているかわからないので、スタンド全体をコーティングして、全部くるむような防水処理で直せる。

⇒ (委員)

去年、米沢市野球場でその修繕行い、雨漏りを直していた。去年1年間はグラウンドを閉鎖して、スタンドの椅子を全部撤去して、防水工事した。この前行ってきたが、全然、雨漏りはしていなかった。

(委員)

○プロ野球や高体連の大会などを呼べる方がいい。子供たちの夢に繋がるような、目玉的なものを作らなければいけない。

(委員長)

○色々な施設を中途半端なメンテナンスで維持していくことは難しい。

○国体記念体育館があると、東北大会ぐらいは可能。体操などは全国規模の大会が誘致できている。視点を「交流人口」に変えて、経済効果なども考えて、行政も進めていかなければならない。

(委員)

○野球場の外野は天然芝だが、人工芝にするという考えはいかがか。

⇒ (委員)

現在、人工芝は材質、精度が上がっているので全面人工芝というのは問題ない。メンテナンスは、定位置の芝が剥げていくので、損傷が激しいが部分改修は可能。プレーには人工芝でも問題ない。かえって人工芝の方が雪国の東北にはいいはず。

(委員)

○野球ばかりではなく、多目的な商業的イベントでの利用も考えて、酒田にもドーム球場があればいい。酒田は海風があるので室内施設があればいい。

(委員)

○野球場はたくさんあるので、これを維持しながら目玉となるようなものを作るにしても、施設の取捨選択をしなければならない。しかしトイレなどのメンテナンスも考えていかなければならない。

(委員)

○トイレの件だが、中学校の女子ソフトボールの生徒は、野球場のトイレが和式なので、入りたくないとのことだった。洋式化も考えてなくてはいけない。

(委員)

○部分的な箇所の話ではなく、この光ヶ丘野球場を使っていくのなら、まず照明器具の撤去、グラウンドをどうするか考える、雨漏りを止める、それから中を改修すれば良いわけだし、トイレの話は最後だと思う。トイレについては、体育施設はどこも足りない状況である。

(委員長)

○色々な施設が 1 ヶ所に集約されると他施設のトイレや駐車場などが使えるから便利になる。

## (2) その他

特に質疑応答なし。

(委員長)

○今日皆様からいただいた貴重なご意見は9月の庁内の関係部課長会議に報告します。その結果を第3回の懇談会で報告させていただきます。本日はありがとうございました。

## 4. その他

特に質疑応答なし

## 5. 閉 会 (略)

以上